昭和37年9月20日生

添田町立添田中学校卒業 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業 日本大学商学部会計学科卒業

麻牛セメント株式会社入社

株式会社麻牛情報システム転職(分社化) 株式会社麻牛情報システム 取締役 平成12年

株式会社麻生情報システム 代表取締役社長

平成23年 福岡県議会議員 初当選 平成27年 福岡県議会議員 2期目 平成31年 福岡県議会議員 3期目



田川の振興に 努めます!

地元の要望に!

広域的交流・物流を担う幹線道路の整備

- 主要地方道田川直方線延伸整備(国道201号と国道322号連結)
- 一般国道322号バイパス並びに国道201号全線早期完成

観光拠点等へのアクセスを強化し交流を促進する道路整備

- 一般国道500号の改良促進(銅鳥居-別所駐車場早期改良の促進)
- 主要地方道添田赤池線の整備促進
- 一般県道行橋添田線道路改良事業

災害の防止、安全安心は河川・道路空間の整備

- 2級河川今川(赤村特産物センター周辺の郷土の水辺整備事業)
- 主急傾斜地崩壊対策事業

地域振興と地場産業の育成

- JR日田彦山線BR丁早期整備と利用促進、平成筑豊鉄道観光列車の整備
- 路線バスやコミュニティバスなど生活交通の維持確保
- 移住 定住 関係人口促進、地域間交流の促進
- ブランド化を通じ地域産物の競争力を強化
- 新規就農者育成と定着、中山間地域農業の活性化と女性(新商品開発支援6次産業化) の活躍を推進
- 有害鳥獣被害防止対策
- •農村環境整備事業 (ほ場整備・農業用施設、県単独事業) 予算枠拡大と補助率見直し
- 県営ため池等整備事業・農業用水利施設の経年劣化に伴う予算確保
- 伝統的工芸品や特産民工芸品などの伝統工芸産業の後継者の確保育成、販路拡大等

次代を担う「人財」育成

- 県立田川高等学校の学力向上による国公立、有名私大への取り組み
- 東鷹高等学校の総合選択制教育課程を活かした教育内容の充実
- 県立西田川高等学校のフレックス型単位制の特徴を生かした教育の実践
- 県立田川科学技術高等学校の土木人材の育成と地元就職促進
- 県立川崎特別支援学校に高等部を設置要望と県立大学との高大連携



郷土の価値を 高めます!

県政の課題に!

未来を見据えた重点政策

- 次代を担う「人財」育成(学校教育の充実、グローバル社会で活躍する青少年育成)
- ワンヘルスの推進(人獣共通感染症対策、薬剤耐性菌対策、ワンヘルス基盤整備)
- 移住定住の促進(地域の基幹産業振興による雇用創出、UIJターン就職支援)
- ・デジタル社会、グリーン社会の実現(地域社会と行政のデジタル化、脱炭素化に資する産業振興)

感染対策・防災対策(感染症や災害に負けない強靭な社会の実現)

- 新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化の両立
- 頻発する災害からの復旧、JR日田彦川線沿線地域振興、治水、耐震化、老朽化対策

雇用対策(中小企業の振興、農林水産業の振興、観光産業の振興)

- 経営基盤強化、たな事業展開促進、小規模企業者の事業の持続的な発展
- 生産力強化、ブランド力強化・販売促進、人財育成、持続可能な農林水産業に向けたワンヘルス推進

健康づくり対策(医療、スポーツ、文化芸術、高齢者・障がいのある人)

- 健康寿命の延伸、がん・難病対策、医療提供体制確保・医療保険制度の安定運用
- スポーツ活動推進と環境づくり、スポーツを通じた地域経済活性化
- 文化芸術活動推進と環境づくり、文化芸術を活用した地域活性化
- 高齢者活躍、地域包括ケア、介護サービスの確保、障がいのある人の生活支援

教育問題(確かな学力、信頼される教職員の育成)

- 学力向ト支援チームの重点的派遣、教員研修や教材・教具の開発など経費の補助
- 定年延長に伴う採用試験の工夫改善、ベテラン教員指導技術継承、教員の指導力養成

観光振興・地域振興・農林振興・商工業振興

- ・八木山バイパス4車線化整備促進と渋滞緩和
- 良好な景観づくりなどの街並み整備、九州一体となった観光客誘致の取り組み
- 食文化や自然、歴史文化など、地域の資源を活かした観光地づくり
- 安全で安心な高品質な農林産物の供給、商店街の活性化



福岡県議会議員候補 農 由民

